

# 北海道社会保険病院だより

平成23年1月発行 第48号

編集・発行 北海道社会保険病院 企画室



## 新年のご挨拶

病院長 岸 不盡彌

新年明けましておめでとうございます。  
本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

卯年を迎えおおいに飛躍したい年ですが、わが国は政治、経済とも混迷が続いています。少子高齢社会でも活力ある社会の形成が望まれます。高齢化を控えたアジアからは日本の対応を学びに訪問者が増えており、高齢化が行き着いたフィンランドからは介護ロボットの技術導入に視察団が来ています。今後社会保障費の増加は避けられないことから、医療・介護の分野での私たちの努力が日本のみならず世界で役立つことは嬉しいことです。

昨年は4月の診療報酬が全体で0.19%のプラス改定となり、いわゆる「医療崩壊」につながった一因とされる医療費（社会保障費）の抑制政策がやっと終わりましたが、医師、看護師をはじめとする病院スタッフの過酷な労働を改善するところまでは至っていないようです。今後とも国民に負担のない更なる改善策が講じられることを希望しています。

当病院は昨年10月、第48回日本社会保険医学会をテーマ「信頼される地域医療の担い手を目指して」のもとに札幌で開催し、全国の社会保険病院、厚生年金病院、船員保険病院の医師、看護師、職員等が参加しました。新たに一つに統合される「独立行政法人地域医療機能推進機構」法案は、残念ながら8月に審議未了により廃案となってしまいましたが、近々新法案で公的病院として統合されることを視野に、三病院団体は地域への病院医療の提供や貢献という共通の使命を果たしていく所存です。

当病院においても、心臓血管センター、呼吸器センター、消化器センター、周産期医療センターを中心に、「信頼される地域医療の担い手を目指して」努力してまいります。昨年、周産期医療センターでは特例病床8床（NICU2床、GCU6床）が許可され増床し、母体搬送の受入れ体制も充実させましたが、心臓血管センターとともに24時間緊急患者に対応できる体制を整えて、診療を続けていきたいと思っております。

本年も職員一同、一層の研鑽と努力を重ねる所存ですので、この一年もまたどうぞよろしく願い申し上げます。

## 健康教室のご案内

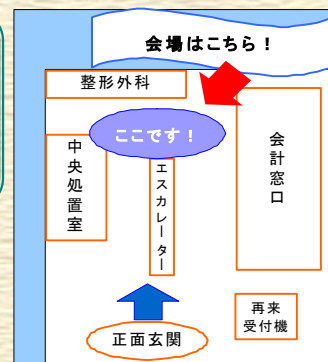
当病院では、健康への正しい知識を深める機会として、健康教室を開催しております。  
医師、看護師、薬剤師等が分かりやすくお話しします。

どなたでも**無料**でご参加いただけます

1月・2月・3月の予定

1月	19日(水)	20日(木)	21日(金)	26日(水)	27日(木)	28日(金)
2月	16日(水)	17日(木)	18日(金)	23日(水)	24日(木)	25日(金)
3月	16日(水)	17日(木)	18日(金)	23日(水)	24日(木)	25日(金)

場所 外来棟1階  
ホスピタルモール(エスカレーター裏)  
時間 11:30~12:00  
予約 予約はいりません。



外来の待合場所が会場です

# 入院医療費領収書の見方

医事課係長 杉目 健司

当病院では入院医療費の計算を**診断群分類包括評価（DPC）方式**で行っています。

診断群分類包括評価（DPC）方式とは、入院される患者さんの病名や病状をもとに処置・手術などの内容（診断群分類）に対して定められた1日当たりの定額の点数（**診断群分類点数表**）を基本に医療費を計算する方式です。

入院医療費はこの包括評価部分に出来高評価部分を合算したものが合計点数となり、このほかに入院時食事療養費や私費（原則消費税込）による病衣使用料などが加算されます。

なお、この出来高評価部分や患者さんの病気・治療内容によって包括評価方式に該当しない場合には、入院医療費は従来からの**医科診療報酬点数表**によって出来高方式で計算を行います。

## 包括評価部分

※包括評価部分から除かれた項目は、出来高評価部分となります。

・入院基本料（特定入院料、入院基本料等加算の一部を除く）
・投薬料（退院処方を除く）
・注射料（無菌製剤処理料を除く）
・処置料（1,000点以上の処置料を除く）
・検査料（内視鏡等の技術料、診断穿刺、検体採取、心臓カテーテル法による検査を除く）
・病理診断料（診断料・判断料を除く）
・画像診断料（画像診断管理加算、選択的動脈造影カテーテル手技を除く）

## ●狭心症で左心臓カテーテル法を行った場合（3日間入院）の一例

### 入院医療費領収書（例）

平成22年12月3日発行

患者番号	1234567		
患者氏名	様		
診療科	心臓内科	適用	国保(本人)
病棟	6階南	保険	
病室	***	負担割合	3割
診療期間	平成22年12月1日～ 平成22年12月3日		

〒 062-\*\*\*\* Tel 011-\*\*\*-\*\*\*\*  
住所 北海道札幌市豊平区〇〇〇

診療費内訳	保険分	保険外分	私費内訳	金額
初再診料	点	円	文書料	円
医学管理等	130点	円	妊婦検診料	円
在宅医療	点	円	乳幼児検診料	円
投薬料	1,769点	円	子宮癌検診料	円
注射料	点	円	乳癌検診料	円
処置料	点	円	予防接種料	円
手術・輸血料	点	円	特定療養費	円
麻酔料	点	円	室料差額	円
検査料	5,400点	円	娩費	円
病理診断料	点	円	オムツ・肌着代	円
画像診断料	点	円	電気使用料	円
リハビリ料	点	円	病衣使用料	189円
その他	点	円	器具使用料	円
入院料	150点	円	その他	円
包括入院料(DPC)	13,551点	円	②小計	189円
合計点数	21,000点		消費税(再掲)	9円
一部負担金	63,000円			
食事療養費	1,300円	円		
		円		
①小計	64,300円	円	合計請求額(①+②)	64,489円

消費税込

退院処方

出来高評価部分

心臓カテーテル法手技

入院基本料加算

**包括評価部分**  
病名・処置・手術などの内容に対して定められた1日当たりの点数  
入院1日目 3,877点  
入院2日目 3,877点  
入院3日目 2,360点  
合計 10,114点 × 1.3398 = 13,551点  
(医療機関係数)  
医療機関係数は病院毎に定められており、病院の施設基準等により異なります。

点滴注射、血液検査・心電図検査、カテーテル材料、胸部撮影等は包括となります。

上記の金額を領収いたしました

領収印

※健康保険では1点につき10円で計算されます。  
※平成22年6月より、領収書のほかに**明細書**をお渡ししています。  
**明細書**には使用した薬剤、検査の名称等、包括評価される項目もすべて記載されています。  
※ご不明な点がございましたら**医事課会計窓口**までお気軽にお尋ねください。  
※次号の発行は4月中旬の予定です。